

1. 行政書士試験について

試験概要

- 実施日：11/14（日）
- 試験時間：3時間（13:00～16:00）
- 受験資格：なし

試験内容

- 法令等：基礎法学、憲法、民法、行政法、商法（会社法含む）（46問・244点）
- 一般知識等：政治・経済・社会、情報通信・個人情報保護、文章理解（14問・56点）
- 計60問、300点満点

合格基準（すべての要件を満たす必要あり）

- 法令等：50%（122点）以上
- 一般知識等：40%（24点）以上
- 試験全体の得点：60%（180点）以上

2. 試験内容

		5肢択一式 (1問4点)	多肢選択式 (1問8点)	40字記述式 (1問20点)	配点	計
法令等	基礎法学	2問	—	—	8点	46問 (244点)
	憲法	5問	1問	—	28点	
	民法	9問	—	2問	76点	
	行政法	19問	2問	1問	112点	
	商法（会社法含む）	5問	—	—	20点	
一般知識等	政治・経済・社会・ 情報通信・個人情報 保護・文章理解	14問	—	—	56点	14問 (56点)
計		54問 (216点)	3問 (24点)	3問 (60点)	300点	60問 (300点)

3. 行政書士試験のポイント

①出題科目

- 法令だけでなく一般知識も出題される（基準点あり）。
- 一般知識も対策が必要。

②出題形式

- 選択式だけでなく40字記述式の出題もあり。
- 特殊な形式であるため、形式慣れ（練習）が必要。

③ 2大重要科目

- 2大重要科目は「行政法」と「民法」。
- この2科目を得意にすることが合格への近道。

4. 行政書士試験合格プラン

1 年合格モデル

インプットを充実させ、着実に合格を目指す。

8月～9月

11月～7月

インプット期

まずは全科目を1周させる

強化期

自分のペースで反復学習をし、強化する

9月末～本試験

合格

直前期

本番のシミュレーションをし、最後の詰めの作業をする

4. 行政書士試験合格プラン

短期合格モデル

インプットを絞り込み、直前期までに追いつく。

6月～9月

インプット・強化期

インプットを絞り込み、絞り込まれた内容について都度反復学習をし、強化する

9月末～本試験

合格

直前期

本番のシミュレーションをし、最後の詰めの作業をする

5. チャレンジ本科生とは

6月～

インプット講義
全35回

チャレンジ講義（憲法全4回、民法全10回、行政法全10回、商法全3回、政治経済情報等全3回）＋基本講義（基礎法學全2回、文章理解全3回）＋自習用教材（科目別答練全7回）

<参考（プレミアム本科生）>

令和2年11月～

インプット講義全60回
＋答練、記述対策講義

9月末～

直前期答練
全5回

- ・総合答練第1回・解説講義
- ・総合答練第2回・解説講義
- ・公開模試第1回
- ・公開模試第2回
- ・最終答練・解説講義

9月末～

直前期答練
全5回

11月14日（日）

本試験

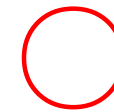
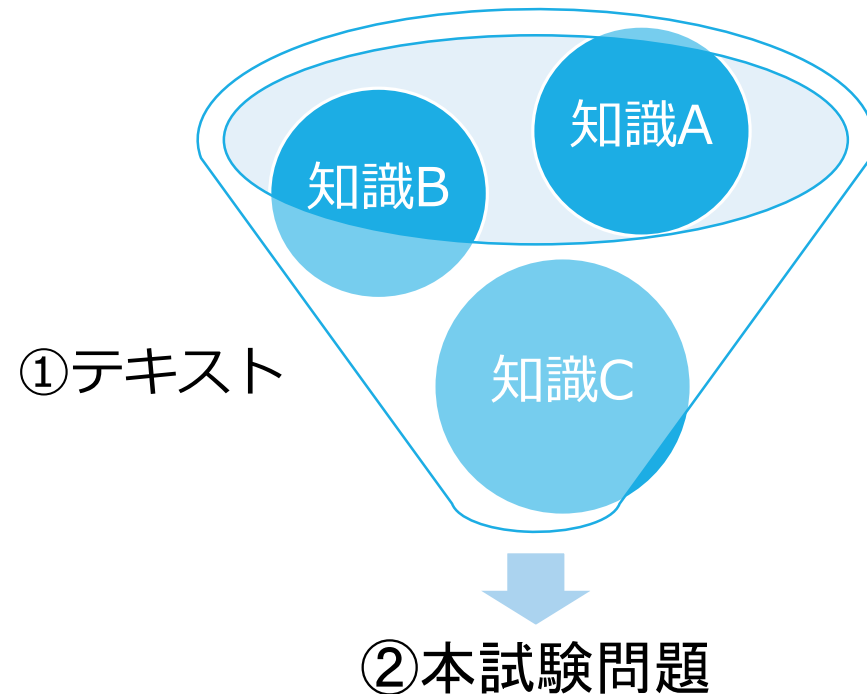
11月14日（日）

本試験

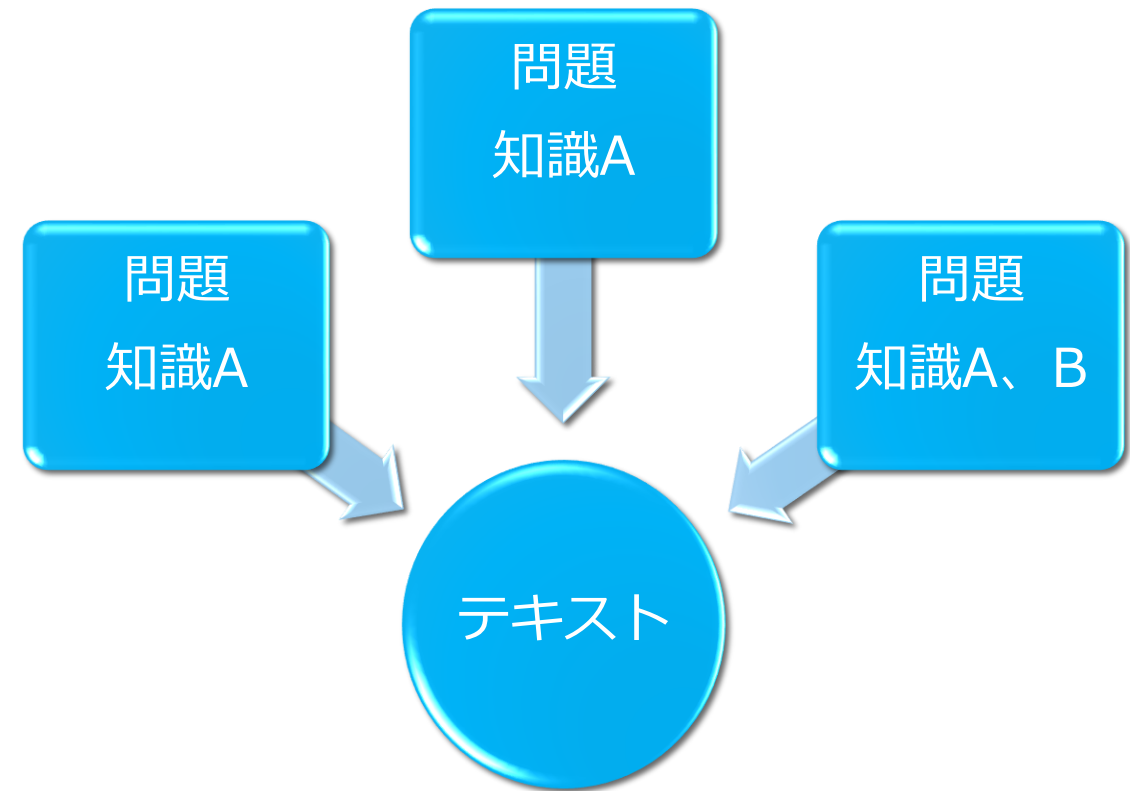
6. 効率的学習法①ゴールの意識



やみくもに知識をインプット



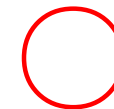
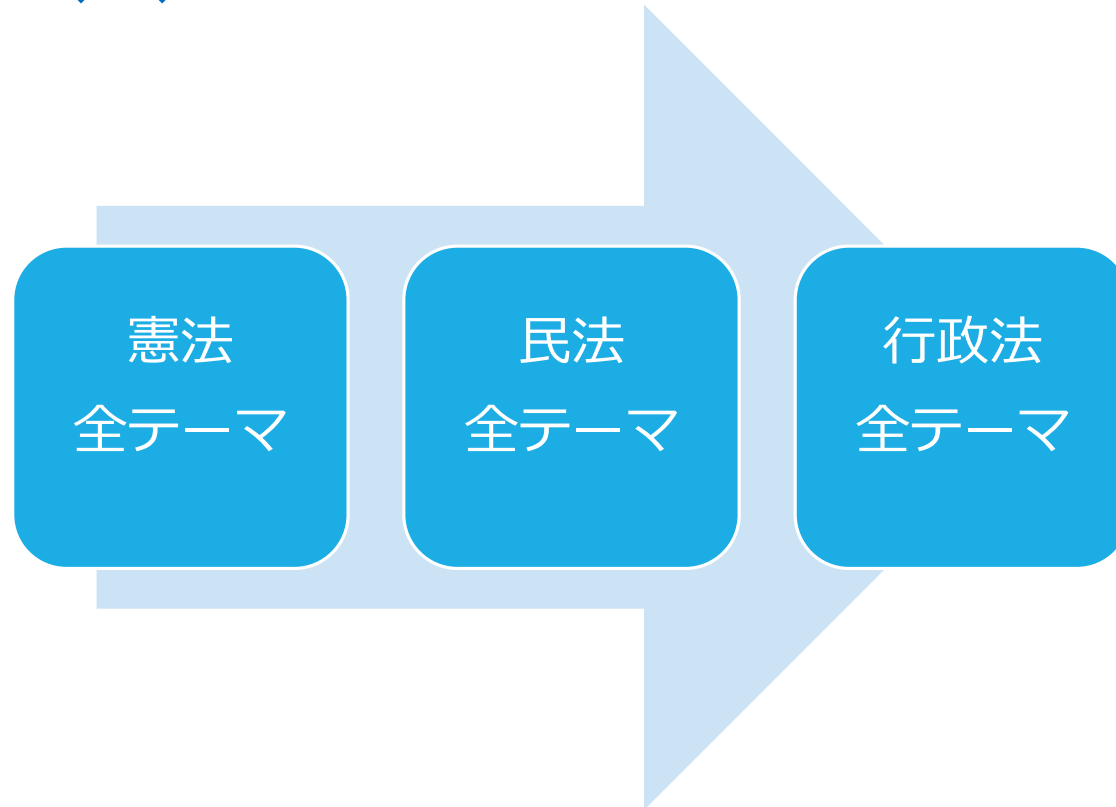
問題を解けるように知識をインプット



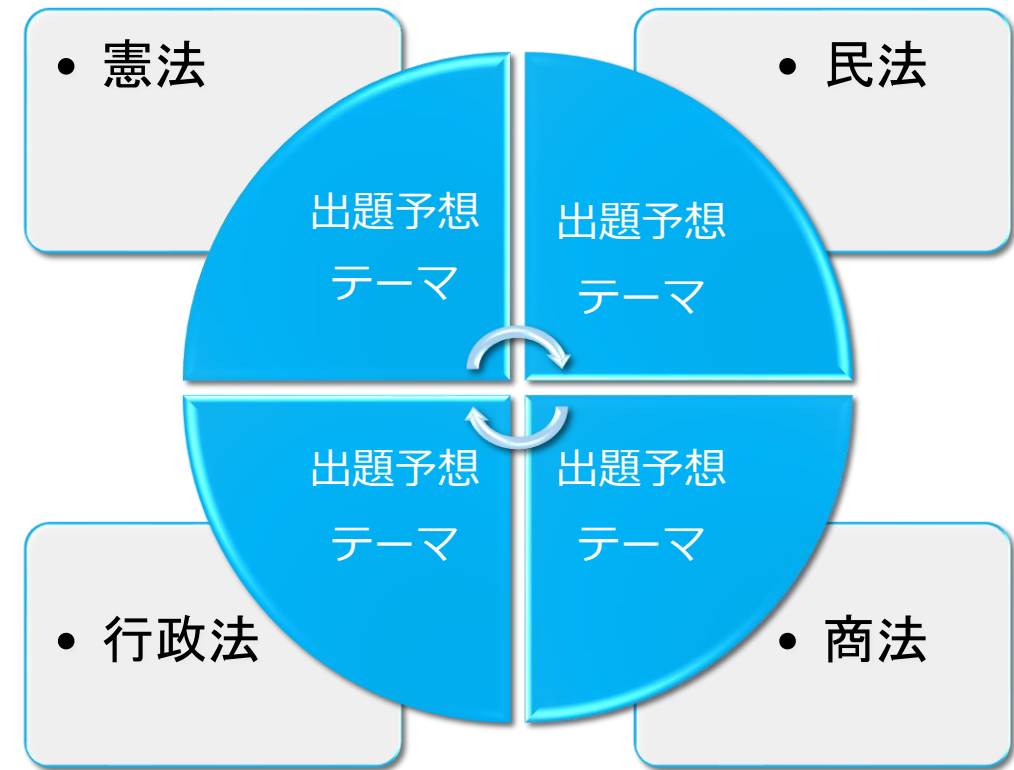
6. 効率的学習法②量より質



知識量で勝負



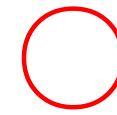
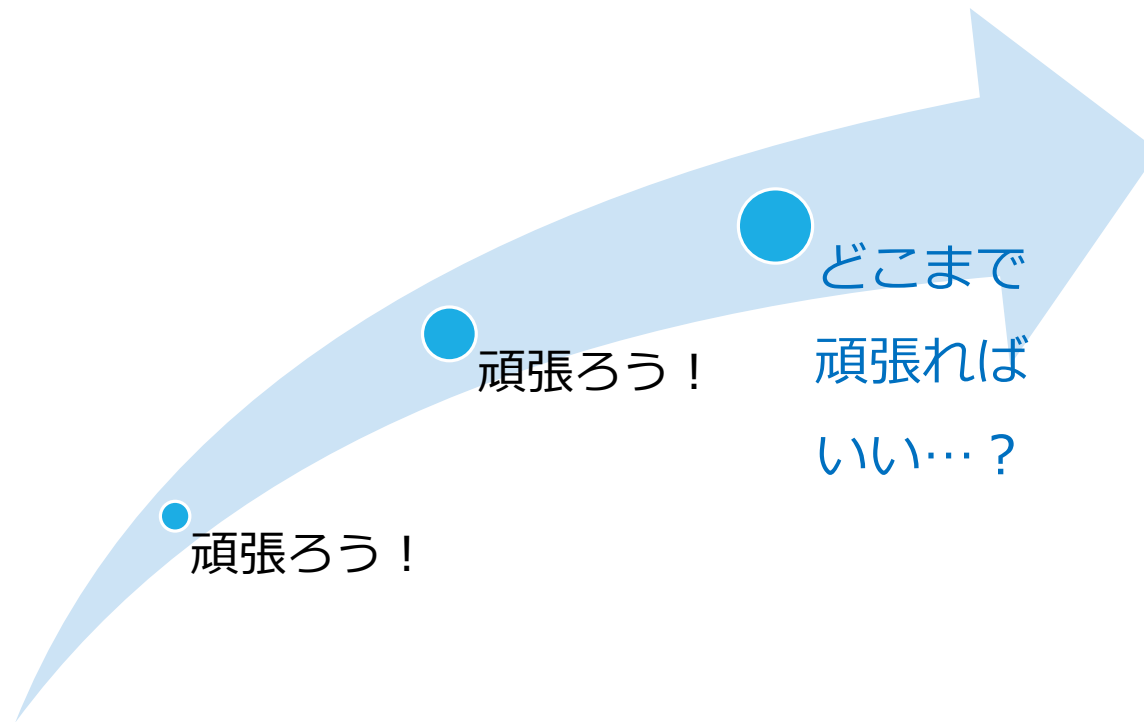
確実に勝負できる肢を作る



6. 効率的学習法③サイズ感の把握



山の高さを把握せず学習



山の高さを把握して、頂上までの距離を詰める

これが
「行政書士試験山」

未到達

到達
済み

到達
済み

到達
済み

頂上まであとこれだけ。ここを埋めるには本試験までに〇〇をすればよい。

6. 効率的学習法 ～まとめ～

①ゴールの意識

- 問題を解けるように知識をインプット
- 過去問を学習初期から目にいれておく。

②量より質

- 確実に勝負できる肢を作る
- テーマを絞り、絞ったテーマについて繰り返す。

③サイズ感の 把握

- 山の高さを把握して、頂上までの距離を詰める
- 模試を活用する。